



【第43期陸曹特技課程「准看護師」卒業式】

令和2年3月5日

3月5日（木）、自衛隊札幌病院准看護学院長（学院長：高橋1佐）は、北部方面衛生隊長 蝶野1佐、最先任上級曹長 伊藤准尉、北部方面総監部から、人事課長 兼子1佐、訓練課長 椋木1佐、医務官代理医務保健班長 遠藤2佐が来賓として臨席する中、第43期准看護学生25名（男子14名、女子11名）の卒業式を挙行了た。

卒業にあたり、病院長（大鹿陸将）は、戴帽式で要望した「努力する人になれ」「誇りを持って」の2点を今一度要望し、この真駒内の地で仲間と苦労を分かち合った2年間は衛生救護陸曹としての原点であり、大きな目標をたて、その目標に向かって努力を継続できる人間になってほしいと述べるとともに、准看護学院の先輩達が築いてきた素晴らしい伝統と歴史を誇りとして、これからの成長と活躍を心から期待していると訓示した。

また、准看護学院長は、43期生への要望事項であった、「気力・知力・体力の充実」を全国各地の新たな任地においても実践し、准看護師たる初級陸曹として、今後の成長と活躍を期待していると述べた。

北部方面総監部医務保健班長は、北部方面総監部医務官（竹島1佐）の祝辞を代読し、「任務を基準とせよ」「機能の維持向上に努めよ」を掲げ、任務を分析し、地位・役割と達成すべき具体的な目標を常に考え、自主積極的に識能の維持向上に励み、大きく飛躍してほしいと述べた。

学生代表は、この教育での感謝と抱負を述べ、衛生救護陸曹としてより一層の努力と研鑽を続けていくと誓い、多くの病院職員に見送られて北は名寄、南は那覇までそれぞれの任地へ旅立った。

なお、方面総監褒賞を布施沙也加3等陸曹が、病院長褒賞を木口研人3等陸曹が、学院長褒賞を坪川航3等陸曹、同じく松寄良菜3等陸曹が受賞した。



申告



准看護学院長（高橋 1 佐）から
卒業証書を授与する学生



病院長（大鹿陸将）訓示



学院長（高橋 1 佐）の式辞を聞く学生達



記念撮影



見送り（万歳三唱）